

■5月10日

ボーイング787対応: 全日空、6月1日から定期便運航再開

全日空は9日、1月16日の緊急着陸以降、運航を停止していたボーイング787の定期便のフライトを6月1日から再開すると正式発表した。6月1日からは国際線7路線へボーイング787を投入する。国内線も順次運航を再開する。

国内線では、既存の運航路線に加え、6月1日より羽田—秋田線、6月15日より羽田—富山線への新規投入することも発表した。

一方、国際線では、運休から再開する路線は、成田—シアトル、成田—サンノゼ線の2路線。機材変更で運航していた羽田—フランクフルト、羽田—北京線の2路線、羽田—台北、成田—北京、成田—上海線の3路線は新規にボーイング787を投入する。

また、787のみで運航されていた羽田—山口宇部線などは他の機種で運航する便も設定されています。これについて、全日空では「787の新たな機体の受領が遅れているほか、利用者に787以外の選択肢も提供するため」などとしています。

日米航空当局は4月26日にボーイングのバッテリーシステム改修案を承認し航空会社に運航再開を許可。これを受けて全日空など世界の航空会社各社は機体改修の準備を進めている。

787を保有する世界8社の中では、エチオピア航空とカタール航空が既に営業を再開している。

(bloomberg)5/9

<http://www.bloomberg.co.jp/news/123-MMIBH86KLVRB01.html> (-> <http://www.bloomberg.co.jp/news/123-MMIBH86KLVRB01.html>)

(TBSニュース)5/9

http://news.tbs.co.jp/newseye/tbs_newseye5327666.html (-> http://news.tbs.co.jp/newseye/tbs_newseye5327666.html)

(ANAプレスリリース)5/9

http://www.ana.co.jp/pr/13_0406/13-025.html (-> http://www.ana.co.jp/pr/13_0406/13-025.html)

航空5社、沖縄路線、GW搭乗実績、前年比1.8%増

全日空、日航グループ3社、スカイマークは7日までに、ゴールデンウィーク期間中(4月26日～5月6日)の沖縄関連路線の搭乗実績をまとめた。5社の旅客数の合計は45万2369人で、前年比1.8%増。提供座席数は1.1%増で63万6909席だった。沖縄タイムスが報じた。

l 全日空の旅客数は神戸線が25.7%増となるなど、全体で前年比5.6%増の21万5702人。提供座席数は4.5%増の30万5699席で、利用率は70.6%だった。

l 日航は前年比12.1%減の9万4874人。昨年7月に関西—那覇線を日本トランスオーシャン航空(JTA)に移管した影響で前年割れした。提供座席数は0.5%増の13万5170席。利用率は70.2%だった。

l JTAは新石垣空港の開港により羽田—石垣線が34.2%増と好調。全体では9.5%増の9万1268人だった。提供座席数は1.4%増の11万8810席。利用率は76.8%だった。

l 琉球エアコミューター(RAC)はJTAから移管された那覇—与那国線、石垣—与那国線が全体数を引き上げ、全体で9.4%増の1万2986人だった。提供座席数は12.2%増の1万8643席。利用率は69.7%だった。

l スカイマークは前年比1.3%増の3万7539人、提供座席数は8.9%増の5万8587席。利用率は64.1%だった。

(沖縄タイムス)5/9

http://article.okinawatimes.co.jp/article/2013-05-09_49027 (-> http://article.okinawatimes.co.jp/article/2013-05-09_49027)

FDA、稚内・釧路へチャーター便を計画

フジドリームエアラインズは9日、名古屋(小牧)、静岡、松本、新潟の各空港から今夏、北海道・稚内や釧路へチャーター便を運航すると発表した。使用機材はエンブラエル製小型ジェット機ERJ175(84席)または同170(76席)。7月に7号機を導入、機材繰りに余裕が出るため北海道への旅行需要の多い夏季にチャーター便を飛ばすことになった。

7月12日～8月22日の期間中に、旅行会社主催の団体旅行48ツアーをサポートする。
路線別では、稚内へ19往復、釧路へ33往復運航する。
尚、発着空港別では、名古屋—稚内19往復、名古屋—釧路18往復、松本—釧路11往復、静岡—釧路2往復、新潟—釧路2往復。

*FDAプレスリリースより

(WSJ)5/9

<http://jp.wsj.com/article/JJ11763914771840094254617403284510183105135.html> (->

<http://jp.wsj.com/article/JJ11763914771840094254617403284510183105135.html>)

(日経)5/9

http://www.nikkei.com/article/DGXNASFC0900S_Z00C13A5L41000/ (->

http://www.nikkei.com/article/DGXNASFC0900S_Z00C13A5L41000/)

(FDAプレスリリース)5/9

<http://www.fujidream.co.jp/company/press/doc/130509.pdf> (-> <http://www.fujidream.co.jp/company/press/doc/130509.pdf>)

スカイマーク、25年3月期決算、経常利益、前期比48.6%減

スカイマークは9日、スカイマークは5月9日、2013年3月期決算(非連結)を発表した。売上高859億4,300万円(前期比7.1%増)、営業利益46億7,400万円(同69.4%減)、経常利益80億9,100万円(同48.6%減)、当期純利益37億7,800万円(同51%減)を計上、増収減益となった。また、14年3月期も前期比25.8%減の60億円に減る見通しとなった。

同時に、前期の期末一括配当を4円実施し、2期ぶりに復配するとし、今期の年間配当は未定とした。

2014年3月期の業績予想は、売上高951億円(前期比10.7%増)、営業利益58億円(同24.1%増)、経常利益60億円(同25.8%減)、当期純利益33億円(同12.7%減)を見込む。

(kabutan)5/9

<http://kabutan.jp/news/?b=k201305090361> (-> <http://kabutan.jp/news/?b=k201305090361>)

(日刊航空)5/10

<http://www.da-news.co.jp/xhp/2013-0510-03.pdf> (-> <http://www.da-news.co.jp/xhp/2013-0510-03.pdf>)

(スカイマーク IR情報)5/9

http://www.skymark.jp/ja/company/investor/130509_ir.pdf (-> http://www.skymark.jp/ja/company/investor/130509_ir.pdf)

スカイマーク、機材計画、ボーイング737、エアバスA330を購入

スカイマークは、今年度の機材計画として新たにボーイング737-800型機を4機、A330-300型機を2機導入する予定を明らかにした。A330型機は2014年2～3月に導入、羽田発着の幹線に集中的に投入するとした。同社はエアバスとA330を10機発注する契約を結んでいる。

ボーイング737-800は新造機導入の一方で、リース満了で今年度中に2機返却を行う。

(日刊航空)5/10

<http://www.da-news.co.jp/xhp/2013-0510-03.pdf> (-> <http://www.da-news.co.jp/xhp/2013-0510-03.pdf>)

全日空、貨物部門、事業運営体制を導入

ANAホールディングスは、貨物事業の早期黒字化へ向け、新たな事業運営体制を導入する方針を固めた。ANA本体の貨物部門とANAロジスティクスサービスとの機能統合によって、貨物事業会社を設立する方向で検討を進めている。

事業会社は、貨物分野の事業計画策定から空港の現場業務まで担うことにより、迅速な経営判断や課題への機動的な対応、貨物商品の品質向上をねらう。

また、機材を1機増やして10機に増機、沖縄貨物ハブを中核としてアジア域内ネットワークを拡充する。さらに輸送力増強へ向けて、他社のリソースも活用する考えだ。

(日刊航空)5/10

<http://www.da-news.co.jp/xhp/2013-0510-02.pdf> (-> <http://www.da-news.co.jp/xhp/2013-0510-02.pdf>)

ボーイング787対応;ボーイング社、787の生産を引き上げ

(産経ニュースによると)

ボーイングは9日、近く運航を再開する最新鋭機787の生産ペースを、これまでの月間5機から同7機に引き上げたと発表した。

さらに年末までに月間10機に引き上げることを目指すとしている。米連邦航空局(FAA)がB787の運航再開を認めたことを受け、ボーイングは航空会社への新規納入も再開する方針で、年末までに約60機を納入する見通しだ。

(産経ニュース)5/10

<http://sankei.jp.msn.com/economy/news/130510/biz13051008390005-n1.htm> (->

<http://sankei.jp.msn.com/economy/news/130510/biz13051008390005-n1.htm>)